

Pick Up! ブックロウの Pick Up コーナー!!

図書館のホームページ
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>
 から Check it out !!

図書館ツアーを実施します!

4月
11日 水
13日 金
16日 月

開催時間 12:15~12:45
内容 図書館の各スペースやサービスの紹介
集合場所 附属図書館玄関ホール

下記の授業を受講する方は、別の日程で図書館ツアーに参加していただけます。

- 「4つの力」スタートアップセミナー(教育学部、医学部、工学部、生物資源学部)
- 文化学科スタートアップセミナー:オリエンテーションセミナー(人文学部文化学科)
- 法律経済学科スタートアップセミナー:オリエンテーションセミナー(人文学部法律経済学科)

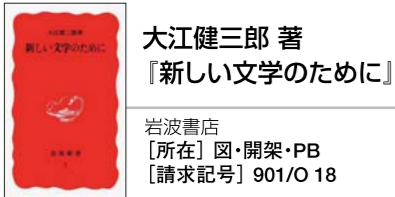
皆さまのご参加を
 お待ちしております!



これだけは読んでおきたい!!
 各学部の先生からのオススメ本

READING LIST

人文学部 古瀬 啓之先生



文学作品に触れる機会は、幼少期から少なからずあったが、文学の創られ方、ならびにそれを「読む」という行為そのものについて初めて考えたのは、本書を通してであった。ロシア・フォルマリズムの文学理論を用いながら名作を分析し、かつ紹介するその内容は、私の狭く閉ざされていた読書の世界を大きく開くことになった。19歳の時に読んだ本書は現在私の読書の基礎となっている。

教育学部 松本 昭彦先生



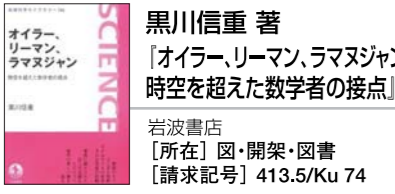
儒教の概説書である。著者が大学で講義する際に適当な概説書がなかったため、自ら著したものである。大学での「教科書」と言えるだろう。という、いきなり読む気がしなくなるかもしれない。しかし、確かに血湧き肉躍る面白さはないが、中国の現在に至るまでの文化のバックボーンにある「儒教」というものを、概括的に押さえようとするには、最も新しく、時間・空間的に広く目配りの効いたわかりやすい概論である。

医学部 浦川 加代子先生



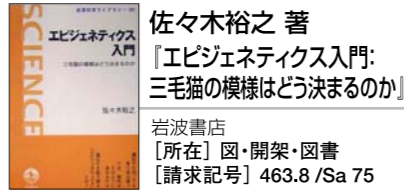
あなたも、私も、「死にゆく者」である。この本は、修道院の階段から転落して臨死体験をした著者が、不思議な導きによって、死を目前にした人たちと一緒に時間を過ごすようになり、その真摯なやりとりを16編のお話にまとめたものである。読んでみると、気づかれると思うが、どのお話も「愛」にあふれている。簡潔な無駄のない文章から、著者の深い知性と信仰に裏打ちされた無条件の愛があふれて、今まさに命つきようとしている人々を、生き生きと蘇らせ、読む人の心ここに忘れられない人として刻みつける。

工学部 畑 浩一先生



天才ガウスの名言、「数学は科学の女王であり、数論は数学の女王である。」を実感できる1冊。本書は、大学初学年で学ぶ無限級数では触れられなかった不思議な級数(ゼータ関数ζ(s))の平易な解説書である。現実なのか虚構なのか、深遠な自然の神秘を垣間見られる。フェルマーの最終定理、ポアンカレ予想が解決された現在、本書を切っ掛けに「リーマン予想」に挑戦してみたいか?

生物資源学部 奥村 克純先生



遺伝子は同じでも生物には様々な外見や個性がある。これにはDNAの配列を変えずに遺伝子の働きを調節するエビジェネティクスが大きく寄与している。エビジェネティクスは、がんや生活習慣病にも関係し、現在、先端生命科学の最もホットな領域である。本書は、エビジェネティクス研究の第一人者が、三毛猫やアサガオの模様など具体例で解説した文系の人にもわかる読み物入門書である。

共通教育 山田雄司先生



幽霊は存在するのかしないのか。これは洋の東西を問わず、長い間問われ続けてきた問題です。本書ではさまざまな国で幽霊がどのようにとらえられてきたのか紹介されています。人は必ず死にますが、死後の世界はどうなっているのか誰にもわかりません。そのとき、死後の世界を知りたいという想像力が幽霊を造り出したのではないのでしょうか。幽霊を通じて文化を比較する興味深い書です。

※絶版のため、入手困難となった図書があります。学塔掲載図書はすべて三重大学附属図書館にあります。

From Students 三重大学図書館

書庫を活用しよう



書庫には、修士論文・博士論文や先生方が研究に使われた資料などが沢山あります。

書庫内図書利用について、次の2通りがあります。

1 ガイダンスを受けて直接、書庫の中に入る方法

ガイダンスは30分程度。実際に書庫内を回りながら説明を受けます。

優しく、丁寧に教えてもらえます。



ガイダンス終了後、入庫許可シールがもらえます。次回の利用時には、この入庫許可シールを貼った学生証と書庫の鍵とを交換の上、書庫に入ることができます。(参考カウンターにて受付)



ガイダンスの開催日時は決められていないので、まずは参考カウンターまで。

2 図書館スタッフが出納する方法

参考カウンターで行っています。必要事項を記入して、申し込みをしてください。

書庫内には約**40万冊**の本があります。先輩方の論文や、先生方が寄贈して下さった本まで...そこにはレポートや卒論などに役立つものが眠っているかもしれません。一度覗いてみては...



迷うくらい広いです...

※このページはインターンシップの一環で山口さんが原案を作成しました。ありがとうございました。

図書館からの質問

- ①簡単な自己紹介をお願いします。
- ②印象に残った仕事、おもしろかった仕事があれば教えてください。
- ③図書館の仕事を体験して、これまで持っていた図書館のイメージと違っていただければ教えてください。
- ④感想をお願いします。



①生物資源学部1年山口莉穂です。

環境や食品分野に興味があります。

②・広報に関する仕事。今回のインターンシップで、広報誌の1ページを作成する体験をしました。人に興味をもってもらえるかつ、わかりやすい内容を考えることは大変難しく、1ページつくるのに、とても時間がかかってしまいました。

・書庫の本を整理する仕事。初めて書庫の中を見させてもらって、その規模の大きさに驚かされました。そのような中で的確に本を棚にしまっているスタッフさんが印象に残っています。

③今まで図書館の仕事といえば、本の整理と貸出・返却しか思い浮かびませんでした。なので最初はスタッフさんの数を見て「なぜこんなにいるのか」と疑問に思いました。しかし、この体験を通し、情報リテラシーやポジティブなど、私達の見えない所で多くのスタッフさん達が勉強の支援をして下さっている事を知りました。まだまだあまり知られていない図書館の機能を多くの人に知ってもらいたいと思いました。

④今まで、複雑でわかりにくかったILLなどの様々な機能を知ることができたので、今後は図書館をより活用していきたいと思いました。2日間という短い間でしたが、とても有意義に過ごせました。ありがとうございました。



From Students